



2年学年だより

発行日：平成 31 年 3 月 25 日 (月)

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 11

Society 5.0 に生きる

校長 磯部 修一

AI 技術の発達により自動で運転される車や会話をするロボット、介護をするロボットなどが話題になっています。将来、AI やロボットによって多くの仕事が代替され、人間の負担が軽減されることが予想される一方、多くの失業者が生まれるのではないかなどと言われたりもします。

人類は Society 1.0 狩猟社会から Society 2.0 農耕社会、Society 3.0 工業社会を経て現代の Society 4.0 情報社会に至っています。そして次の大きな変革として Society 5.0 が訪れようとしています。

「Society 5.0 に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」(平成 30 年 6 月 5 日 Society 5.0 に向けた人材育成に係る大臣懇談会 新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース 文部科学省)には次のようなことが書かれています。

○Society 5.0 とは、「サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」

○Society 5.0 を実現する鍵となる AI とその基礎となる数学や情報科学等に関する研究開発と教育が、日本は米国や中国等に比べて立ち遅れている。

○私たちが目指すべき社会は、経済性や効率性、最適性だけを追求するのではなく、あくまでも人間を中心として、一人一人が他者との関わりの中で「幸せ」や「豊かさ」を追求できる社会。

○人間らしく豊かに生きていくために必要な力は次の三つ。

- ① 文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ② 科学的に思考・吟味し活用する力
- ③ 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力

○我が国の義務教育では、今後とも、Society 5.0 を見据え、基礎的読解力、数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力を、すべての児童生徒が習得できるよう、新学習指導要領の着実な実施が必要である。

○学校や学びの在り方に関しては、「〇〇だけ」構造からの脱却が求められる。例えば、「教師だけ」が指導に携わる学校から、教師とは異なる知見を持つ人々と連携・協働し、「開かれた教育課程」を実現する学校へ。「同一内容だけ」児童生徒に教える教育から、「個々人の特性」に応じた教育へ、などの転換が求められる。

生徒たちが、Society 5.0 において人間らしく豊かに生きていく力を身に付けることができるように、学校での教育の在り方を考えていきます。

3年生卒業研究論文発表会を見学しました！

3月9日(土)に3年生のEGGゼミ卒業研究論文発表会が行われ、その発表会を2年生は見学しました。卒業研究は附属中3年間のEGG学習の集大成です。【国際】【健康・福祉】【環境】【テクノロジー】【人間】の5領域に分かれて、一人ひとりが課題を設定し、調査・研究し、EGG学習の大テーマである「世界を幸せにする第一歩」として自分の考えや提案を論文の形でまとめます。研究は一年間かけて、じっくりと取り組みます。今回の発表会で先輩方は、自分の研究内容を一人5分以内で、後輩たちにもわかりやすいように、フリップやパワーポイントを用いて紹介してくれました。

「大変そう。そんなすごいことできるかな。」と不安に思っている人もいるでしょう。でも大丈夫です。6期生も先輩方と同じプログラムで1.2年生のEGG学習を積み重ねて、力をつけてきています。A4レポート用紙20枚、という長さが心配？ いえいえ、みなさん、例えば国語の单元振り返りで、いつもノート2ページぐらい書き慣れていますよね！文章の長さは問題ではありません。どちらかという課題の設定が大切なのかもしれません。あれ？と思うこと、こうだと思いいいと思うことを真面目に楽しんで掘り下げ、広げて考えていくのです。附属中学校でしかできない学びを、ぜひ楽しみましょう！

5期生卒業研究論文のタイトル例

- 【国際】「世界を幸せにするSNS利用のあり方」「観光のユニバーサルデザインを考える～東京2020を目指して～」
- 【健康・福祉】「健康×BENTOの可能性」「高齢者介護の負担を減らすには」
- 【環境】「環境にやさしい台所をつくるためには」「スーパーフードを食卓に取り入れることは可能か」
- 【テクノロジー】「混雑や行列を減らすためには～エスカレーターの工夫を考える～」
- 【人間】「魅力的な文章の書き方～コラム〔編集手帳〕を通して～」
- 「日本舞踊がもつ力で世界を繋ぐ～異文化理解で幸せな世界を～」

3年生に向けて…HOP！STEP！JUMP！

3月に入ると、年度末の生徒会活動が目白押しでした。全校生徒による後期生徒総会、3学年きょうだい級交流のスマイルランチミーティングでは、3年生の先輩方の姿を見て、最高学年が果たす役割の大きさを、進級目前に感じたことでしょう。

また、学年レクの大縄跳び&長縄跳び、学年集



6期生の笑顔大集合！ IN 学年集会

会では、6期生の仲の良さが感じられ、これからもみんなで支え合い、励まし合うことを確認できたことと思います。4月からも頑張ろうね！6期生！

3 学期をふりかえって

附属中学校の3学期は、適性検査や高校入試関連のお休みがあり、そのお休みを縫うように課題の提出やEGG学習発表や各種テストが組まれていて大変独特です。その中で、学校で、クラスで、なかまとともに過ごす日々の楽しさを感じていたことでしょう。この3学期は、2年生のまとめの期間であり、また新年度への準備期間でもあります。3学期の頑張りをそれぞれの自信につなげて、新年度を気持ちよく迎えましょう。6期生もいよいよ中学校最高学年です。

1組： 本当に充実した一年で、クラスで一年間を振り返った時のみんなの笑顔がとても輝いていたのが、とても嬉しいというか何とも言えない気分になった。この3学期は公私ともに視野を広げて色々なことに気づけたと思う。なぜかは自分でもわからないが、物事や自分を客観的に見られて、何気ないことにも喜びを感じられたので良かった。

2組： 授業では、以前よりも、一生懸命取り組むようになった。発表するなどという形には表れていないが、国語の話し合いや理科の実験など、さらに深く考えるようになった。また、2学期より少し細かいところに目がいくようになった。自分の担当を忘れずに行って、さらに+αのことをもっと多く、3年生ではやっていきたい。

3組： 3学期はあっという間に終わってしまった感じがした。その中で僕が頑張ったことは「発表」だ。3学期はリテリングショーとEGGの英語スピーチの2回「発表」をした。どっちもたくさん練習して、緊張したけれど無事に終わることができた。3学期は勉強を頑張ろうと思ったが、あまり頑張れずに終わってしまった。ただ頑張るだけでなく、どう頑張るのか、なぜ頑張るのかを考えて、しっかり目標を立てたい。

4組： 3学期は本当に日数が少なく、行事もほとんどなくて、1日がすごくはやく感じた。1学期、2学期と比べていろいろな人と話せるようになった。係活動は置き勉チェックを週3日やるはずだったのに、最後はほとんどやらなくなってしまったので、そんなことにならないように最後までしっかり仕事する。来年は中3という中学校での最高学年になるから、とくに部活でみんなを引っ張っていけるようにしたいです。

BOSS子のつばやき

2年生最後の学年集会がありました。前に立つ仲間からのメッセージをしっかり聞き、面白い場面では皆で笑いあえる温かい雰囲気は、集会を重ねるごとにグレードアップしてきました。そんな集会で、最後に一言だけBOSS子が話をするチャンスがあったので、皆に伝えたのは、「当たり前のことを当たり前に行うことができることの尊さとそんな学年でいてくれることへの感謝」「来年度にもう一歩高みを目指すための目標を皆で持とう」ということでした。保護者の皆様、今年度一年間ありがとうございます。

◆◆新年度のお知らせ◆◆

始業式・入学式は **4月5日(金)** です。午前中に始業式が行われ、その後、入学式の準備を行い、午後から入学式に参加して校歌を披露します。お弁当の準備をお願いします。

登校時間：8：30～**ドライエリア付近で新クラスの発表を行います。**

持ち物：連絡票のクリアファイル、体育館履き、筆記用具、昼食、
保健関係書類（保健調査票、防災カード、眼科保険調査票の3点）

下校時間：入学式に参加するため、15：40以降となります。